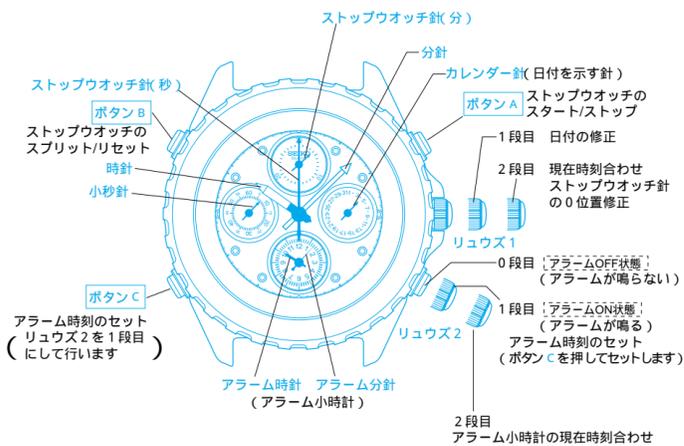


7T34の主な特徴

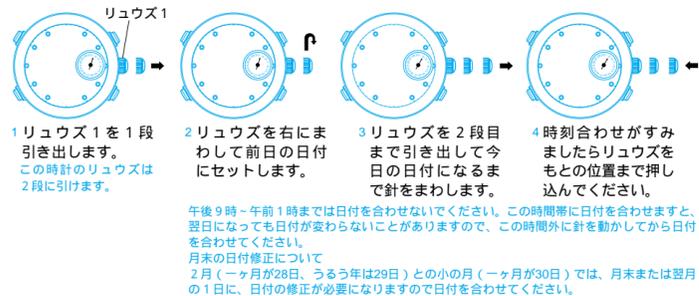
7T34は、現在時刻のほか、日付、ストップウォッチ機能、アラーム機能をもった時計です。現在時刻を、時針、分針、小秒針で表示します。日付は針で表示します。ストップウォッチは1/5秒単位で30分まで計測します。アラームは独立した小時計で表示します。電池の寿命が終りに近づくと、秒針が2秒間隔で動いて知らせてくれます。

各部の名称とはたらき



カレンダー針の合わせかた

日付はカレンダー針の指示している数字、又は中間の点で読みます。

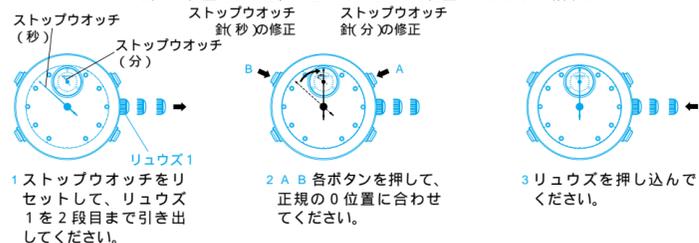


時刻の合わせかた



ストップウォッチ針の0位置修正

ストップウォッチ針の0位置がずれて、リセットしても0の位置にもどらない場合は……



製品仕様

1. 水晶振動数 …… 32,768Hz (Hz = 1秒間の振動数)
2. 携帯精度 …… 常温(5 ~ 35)において月差±15秒以内(アラーム目安精度±1分)
3. 作動温度範囲 …… -10 ~ +60
4. 駆動方式 …… ステップモーター式(4個)
5. 表示内容 …… 時刻表示 時、分、秒(1秒ステップ運針) ストップウォッチ(1/5秒計測、30分計) 分針(1分ステップ運針、30分/1回転) 秒針(1/5秒ステップ運針、60秒/1回転)
6. 使用電池 …… 小型銀電池 SB-BP 1個
7. 電池寿命切れ予告機能つき
8. 電子回路 …… C-MOS-LSI 1個

上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

アラームの使いかた

1分単位でアラーム時刻がセットできます。(ただし午前、午後の区別はありません)

アラーム小時計は別時計です。アラームを使用する前にアラーム小時計の現在時刻合わせをします。

この操作は、1回入れば現在時刻を修正するとき以外には必要ありません。



リュウズ2を2段目まで引き出して、リュウズをまわして、アラーム小時計を現在時刻に合わせます。合わせ終ったら、リュウズをもとの位置まで押し込んでください。

リュウズ2を2段目まで引き出すと、約1秒間警告音が鳴ります。警告音が鳴り終わると、あらかじめセットしてあったアラーム時刻はキャンセルされます。(ただし、鳴っている最中にリュウズをもとせばキャンセルされません。)

アラームON、OFFはリュウズ2で行ないます。リュウズ2が0段目の時はアラームOFF、1段目の時はアラームONの状態になります。



6時位置の小時計をデュアルタイム表示として使う場合

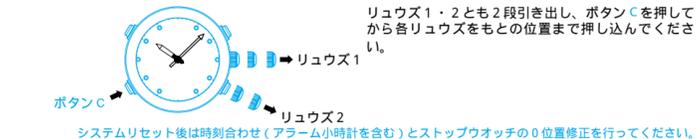
この時計の6時位置の小時計を使って、デュアルタイム表示させることができます。

通常アラーム機能に使っている小時計を、この機能に使ってしまいますので、合わせてあるアラーム時刻等は、キャンセルされます。アラーム機能として使用する際には、もう一度、アラーム針の現時刻を合わせてから、行って下さい。

リュウズ2を2段目に引き出してください。約1秒間警告音がなります。リュウズ2を回転し、合わせたい地域の時刻に合わせてください。12時間制ですので、午前午後は読み取れません。合わせ終ったら、リュウズ2を押し込んでください。この状態から、リュウズ2を1段目に引き出し、アラーム時刻をセットした場合、合わせた地域の時刻が一致した時にアラームがなります。

システムリセットについて

万一、針が通常動作と異なる動きをした場合、以下のような操作を行ってください。時計体内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。



「ルミブライト」について

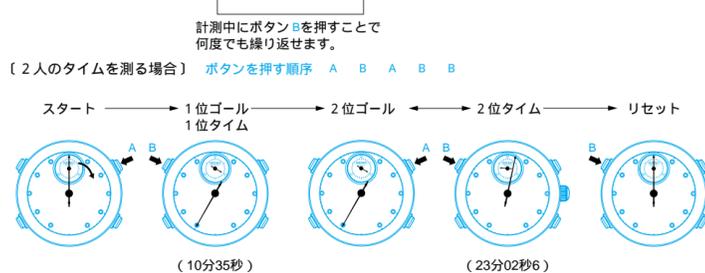
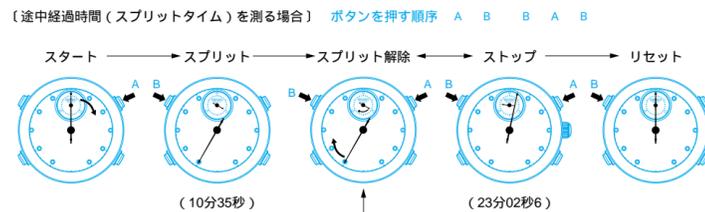
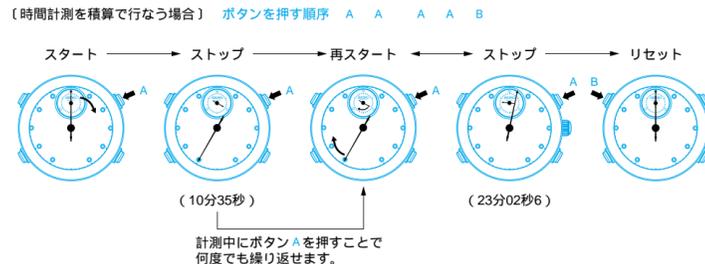
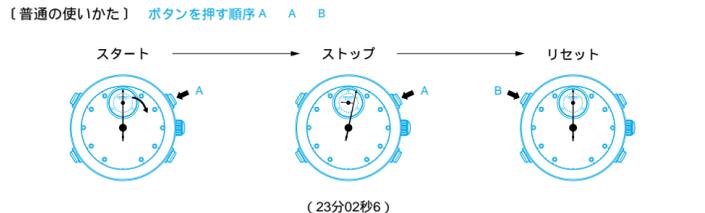
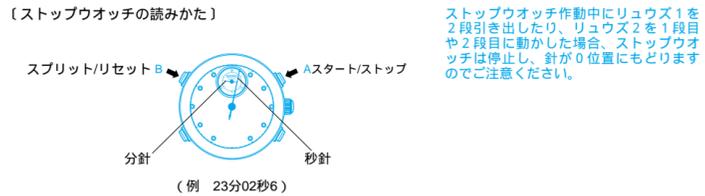
「ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)物質です。」ルミブライトは太陽光や照明器具の明かりを短時間(約10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3~5時間)光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させているので、輝度(明るさ)は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際の明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

照度データ(目安値)
A. 太陽付近 晴天 J100,000ルクス 曇天 J0,000ルクス
B. 屋内(昼間窓際) 晴天 J3,000ルクス以上 [曇天 J1,000~3,000ルクス 雨天 J1,000ルクス以下
C. 照明(白色蛍光灯40Wの下で) J1m J1,000ルクス [3m J500ルクス 通常室内レベル J4m J250ルクス

ストップウォッチの使いかた

1/5秒単位で最大30分まで計測可能です。針が0位置に合っているか確認してください。

ストップするのを忘れた時は、ストップウォッチが作動してから6時間後に自動的にストップします。商品によってはデザイン上の理由で1/5秒単位目盛りがありませんが、ストップウォッチ針は1/5秒単位で動きます。



=タキメーター(TACHYMETER)がついている場合=
単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。

